

# 一 般 質 問

市政全般の課題や問題をただす一般質問は、3月1日、4日、5日に行われ、16人の議員が82項目に及ぶ質問をしました。その主なものは次のとおりです。

## 新中核病院に関する協議について



【須藤議員】昨年8月から、市長は議員や地域医療を担う医師会に

何の相談もなく協和中央病院との協議を始めた。議会無視であり、独裁的な手法は誠に残念である。その結果この7カ月何の進展もみられない。今回、県の指導で本市と協和中央病院の協議に桜川市が加わる計画を進めると言うが、桜川市は竹島地区を建設候補地から外す条件で協議に入ると聞く。この条件は到底受け入れられるものではないがどう考えるか。また、協和中央病院からはどのような条件が提示されているのか伺いたい。【市長】新中核病院建設に関し、県から、①桜川市も入った三者で建設する。②医師会の理解を得るよう県が責任を持って取り組む。



③場所について、竹島にこだわらないとしてもらいたい。の3条件が提示された。公立2病院の再編統合を目指していた時に、建設準備委員会において、建設場所は竹島とされた経緯があり、本市としては、竹島地区を考えているが、2月の桜川市の全員協議会において、竹島地区では納得していない。また、協和中央病院からは、医療法人として関連施設とのかかわり合いから、現在の病院周辺への新中核病院建設が強く要望されている。地域医療再生への理念は一致しているが、場所や病院の機能等、持続可能な運営方法を導くためにも、一刻も早く協議を開始していきたいと考えている。

## 下館地区の住所の表示について

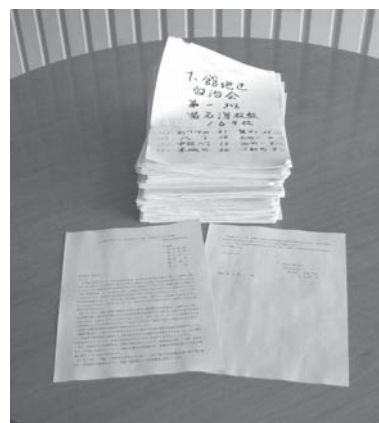


【外山議員】今定例会には、下館地区の甲・乙・丙の住所の表示に

ついて、下館地区自治会の皆様と商工会議所から請願がなされている。合併して8年になるが、現在の甲・乙・丙では、全くわからない。「下館」という地名は何百年も続いている地名である。「下館」という歴史ある名前を通称名の前に持ってきて、これを復活させてはどうか。ただ、当時の合併協議会が1市3町は対等であるということから、古い名称は使わないとした経緯がある。しかし、合併当時の取り決めで不便や不合理なことが起きているのも事実である。ぜひとも、直すべきところは勇気をもって直していただきたい。いかがか。

【市長】今回の請願には、地方自治法の規定により、町、字の区域と名称の変更を行い、現在の通称名称を住所の表示に使用したい旨が記されている。しかし、この手法では地番がばらばらに入り組んでいる状態は解消されない。今後、地番整理など別の手法を実施することもあわせて、慎重に検討して

いきたい。また、「下館」の名称を使用することについても、合併時に旧地区の名称を使用しないと決めた経緯を踏まえて、町名の変更とあわせて検討してまいりたい。



請願書・署名簿 (9,024名)

## 指名競争入札について



【鈴木議員】契約について以前は500万円までは指名競争入札で、

それ以上のものは電子入札ということをやってきた。しかし、市長が当選してからは指名競争入札を1,000万円に引き上げた。そこで指名を受けられない業者が出てきているという。指名業者を各課から市長に伺いを立てるわけだが、市長の権限で業者を選定してしまう。それほどまでに市長の権限は大きいのだ。各課から上がっ

てきた名簿に市長はこれよりよいとやっけていくのが普通である。やはり市民に公平で公正な行政を行うべきである。市長の業者後援会、筑山会へ加入したかしないかで指名は左右されるのか伺いたい。

【市長】入札の業者指名選定については、筑西市競争入札参加業者指名選定委員会設置要綱に基づき委員会において適正に行われている。今後とも多くの方に入札参加の機会が与えられるよう努めていきたい。筑山会につきましては政治活動団体であり、指名には一切関係ございません。

【鈴木議員】自由競争を促すためにも、指名の限度額をもっと下げて、指名競争入札というのは事実上やめてはいかがか。

【総務部長】平成20年度から電子による一般競争入札は基準額を2,500万円から1,000万円に引き下げて実施してきた。それ未満は指名競争入札で実施しているもので、ご理解願いたい。



## 空き家対策について



【保坂議員】管理不全の空き家は今どのくらいあるのか。

【市民環境部長】1月31日現在で一戸建てで227戸。共同住宅で13戸である。

【保坂議員】きれいなまちづくり条例により、空き家に対しては催告、命令、公表するようだ。公表はどのような方法で行うのか。

【市民環境部長】個人の場合は命令に従わない者の氏名を市の掲示板に掲載する。事業者については掲示板のほか市の広報紙に掲載し、公表したいと考えている。

【保坂議員】公表だけで、空き家対策になると考えるのか。

【市民環境部長】空き家は所有者の財産であるので、慎重に対応していきたい。

【保坂議員】財産権は、公共の福祉に反しない限り守られるもので、管理不全の空き家に対しては適用されないと思ういかがか。

【市民環境部長】老朽した空き家が崩れそうで、隣家に被害を及ぼすというだけでは公共の福祉に反したとは言えず、行政代執行には当たらないという見解もある。財

産権の問題もあるので、大変苦慮しているところである。

【保坂議員】個人情報公表するのは公共の福祉に反するからであり、それを考えるなら代執行を行う必要性もあると思うが。

【市民環境部長】あくまでも公表までには段階を踏んで進めていく。プライバシーの観点からも慎重に扱ってまいりたい。



## 各種申請書の受付出張サービスについて



【田中議員】地域を歩くとき、報道されているように、足腰が弱り、歩行

さえないお年寄りがふえている。本市では、交通弱者や高齢者に対するサービスとして、デマンドタクシーの利用促進が図られている。しかし、市役所に各種申請書を提出しようとしても、書き方がわからない、市役所のどこに出してよいかわからない、また用事が一回で済まないとい

た声を聞く。そこで、戦後、奇跡の復興とまで言われ、この豊かな社会を築きあげてくれた高齢者や、さらに足腰の不自由な方々に対して、行政側から出向いて説明や受け付けのサービスができないか伺いたい。

【総務部長】現在、本市では郵送で戸籍や税証明等の請求を受け付け、交付しているが、受け付けを出張して行うサービスは行っていない。全国では、高齢者を対象にご自宅等まで訪問し、証明書等を交付するサービスを試行的に実施している自治体が数市ある。いづれにしても、市役所の受け付け業務は法令上、本人申請主義が多い。受け付け出張サービスを検討するに当たっては、関係課所が多数になることや人員と費用がかかることから、今後、全国の事例を調査し、事務改善委員会等で検討を考えてまいります。



市民課窓口



## 住所の表示（甲乙丙番地の町名変更）について



【大嶋議員】今定例会

に、下館地区自治会と下館商工会議所の連署により請願書が提出された。平成6年以降、4人の議員が一般質問し、平成22年と昨年のタウンミーティングでも質問がでていた。この件については、旧下館市内の26の自治会で甲・乙・丙の住所の表示を使っている、わかりにくく、住民がたいへん困っている。今回の請願は、現在使用している通称町名の稲荷町、大町、本城町などを大字名としていただきたい内容の要望である。どのように考えているか。

【総務部長】請願は、地方自治法の規定に基づく、町、字の区域と名称の変更を要望している。この手法が現時点で最も現実的な選択と思う。しかし、地番がばらばらに入り組んでいる状況の解消にはならないことから、地番整理等の手法をあわせて実施する必要があると考えている。また、区域内の土地に関する資料の不足、地籍調査が未実施であることから、実現までには相当の時間と経費が必要になる。また、変更後には住民の

負担が発生することも想定される。【大嶋議員】今後、関係者と行政との検討会等を立ち上げる必要があると考えるがいかがか。【総務部長】何らかの形で検討会等の会議は立ち上げていかなければならないと考えている。



表示板

## 新中核病院の建設について



【加茂議員】県の調整

案に、竹島に建設場所はこだわらないとしてもらいたいとあるが、場所について市の考えを伺いたい。

【市長】協和中央病院と筑西市との協議に桜川市の参画を促すものであるが、筑西市としては、竹島という意見を持って協議に参加することに変わりはない。

【加茂議員】病床数が3000床と言われてきたが、新たに600床との話がある。どのような配分か。【市長】県の真壁医師会への説明では、現在の671床を1割削減し、新中核病院、県西総合病院及

び筑西市民病院で全体として約600床が、3病院の再編統合後の許可病床の確保数となる。この病床数が適正に配置されるものと考えている。

【加茂議員】先日、共産党市議団が厚生労働省を訪問し、担当者から、「地域に医療過疎の改善効果があるように考えており、期限の延長を財務省に要望する考え」との話を聞き、地域の切実な思いを受け止めていると感じた。市は医師会、関係者等との合意不十分のまま建設を急ぐ前に期限延長を国に要望すべきではないか。

【審議監】今回、平成25年度中に、実施設計の完了をもって着工とみなすとされたため、期限の延長を国に働きかけられるよう、基本構想、基本計画の策定作業に努力してまいりたい。



## 市長の政治姿勢について



【小島議員】市民アン

ケートの結果、市民は公共投資に慎重であっ

た。本庁舎耐震補強は、市民の支持を得ている。しかし、議会では批判的な意見がある。その最大の理由は、スピカビル売却に反対、同時に3支所への分庁化反対である。市長が、この二つを明確に撤回すれば、本庁舎耐震補強の環境は整うのではないか。

【市長】スピカビルの利活用と本庁舎耐震補強は切り離して対応しなければならぬ。前者は、改めて検討していきたい。

【小島議員】今後も3支所への分庁化を考えているようだが、市民アンケートの中で支所の整備を求める割合は10%未満だった。民意を尊重するならば、3支所への分庁方針を撤回すべきと思うが。

【市長】関城支所は耐震基準に合致し問題ない。協和支所は必要最小限で整備することとなった。明野支所は費用対効果を考慮して、耐震補強を見送った。これら3支所への分散は、今後再検討する。【小島議員】将来、本庁舎の建てかえの時期はいずれ来る。その将来の移転先を南部とする構想は、今も持っているか。

【市長】本庁舎の環境として交通アクセスは非常に重要である。筑西幹線道路は、将来の本市の発展を導くと認識している。安価な土

地が取得できる南部は有力と考えている。



市役所本庁舎

## 新中核病院の建設 期限について



【三浦議員】全国最低レベルのこの医療圏の再生に新中核病院建設を進めているが、無理なスケジュールではないか。

【審議監】基本構想、基本計画の策定に11カ月、基本設計、実施設計に約1年必要であり、交付金の活用期限とする平成25年度末までの実施設計の完了は非常に難しい。

【三浦議員】建設推進会議で場所を決定するのも難しいのではないかと。

【審議監】3者の協議を促すためにも竹島にこだわらないとされた。今後、大局的な見地から建設推進会議で協議をしてみたい。

【三浦議員】地域完結型の医療再生には600床必要と言われるが、どのように考えるか。

【審議監】この医療圏に600床が必要かの検証も含め、基本構想、基本計画策定の中で各病院の必要病床数を検討していくことになる。

【三浦議員】協和中央病院との統合には財産の処分の問題があり非常に難しいと考えるがいかがか。

【市長】県からの調整案も示されており、最善の方策との思いで取り組んでいる。

【三浦議員】広い目で枠組みを考えるためにも期限の延長を国に働きかけなくてはならない。どのように取り組んでいくつもりか。

【市長】この地域の医療再生の形を整えるのが先決であり、国に期限の延長を働きかけるためにも一刻も早く協議できるようにお願いしたい。



## 北関東自動車道のスマート インターチェンジ設置について



【真次議員】以前の議会で質問したが、北関東自動車道にスマートインターチェンジが設置できないか。本市にはイチゴやこだまスイカそして関城の梨など全国に誇

れる農産物がある。それらを北関東自動車道から日立港や茨城空港を利用することで神戸や北海道、韓国までも運ぶことができる。大政山トンネルを過ぎたあたりまでは、県道が整備されており、取り付け道路は国土交通省が施工できるのではないかと。

【土木部長】平成23年度に佐野スマートインターチェンジが設置された。佐野工業団地や観光施設があり、ネクスコ東日本が設置し、栃木県と佐野市はアクセス道路の事業費負担だけであった。しかし、議員ご指摘の場所は、周辺の環境から考えてネクスコ東日本が優先設置することは考えられない。

【真次議員】周辺道路は十分整備されていると考える。地域発展のためにも設置を念頭に、真岡市や県と協議会を立ち上げ計画を策定していただきたい。

【土木部長】現在の県道や市道を利用して簡単にインターチェンジ



スマートインターチェンジ

を設置することはできず、莫大な予算が必要になると考えている。

【市長】協議会設立には真岡市の機運の高まりが不可欠であり、今後、見極めてまいりたい。

## 体罰の問題について



【稲川議員】県と市でそれぞれ体罰にかかわる児童生徒へのアンケートを実施しようだが、市のアンケートは名前を書いてもらわなくてもよいとされた。①無記名の場合、名前を書けない理由が秘められていると思うが、どう考えるか。また、対応はどうするのか。

②県の教育委員会と公安委員会が協定を結び、そして市教育委員会も協定を締結する報道があった。その協定内容及び市教育委員会や学校への影響について伺いたい。

【教育長】①記名で体罰を受けたと回答することは先生を訴えるというところで、子供にとっては心が痛むこともある。しかし、事実を知ってほしい子もいるであろうというところで、記名についてはどちらでもよいことにした。②協定についてはもともといじめ問題から始まったものである。いじめ問題で自殺にまで追い込まれてしまっ



た子がいる。未然に早く見つけるため、もつときめ細かく情報交換していこうということが、この協定の目的である。そのため、協定のタイトルにはじめ問題への的確な対応ということが付記されている。協定の狙いは①青少年の健全育成。②非行防止。③犯罪被害の予防だと思ふ。情報を共有して早期に健全育成を図るため、本市では4月の協定締結に向け素案を作成中である。



## 安心して暮らせる医療、福祉の充実について



【石島議員】救急体制の整備、救急車の出勤回数について伺いたい。また、初期の救急医療への夜間休日一次救急診療所や市民病院の対応について伺いたい。

【総務部長】3次医療機関との勉強会を実施し多くの職員が参加して、医師と救急隊員の顔の見える関係を構築している。医療ツールとしてドクターカーやドクターヘ

リコプターの要請もでき、重篤な傷病者の場合はいち早く医師の管理下に置くことを徹底している。また、救急車の出勤回数は平成24年中、出勤件数が3,880件、搬送件数が3,600件である。

【健康増進部長】夜間休日一次救急診療所では、夜間及び休日の診療を365日行っており、必要に応じて2次3次救急医療病院を紹介して医療体制の充実を図っている。

【市民病院事務部長】平成24年4月から、救急隊と病院の医師とのホットラインを開設し、迅速な救急隊への指導や受け入れの判断をすることが可能になった。

【石島議員】介護施設入所待機者の現状と対策について伺いたい。

【福祉部長】特別養護老人ホームへの入所待ちが多くなっている。真に入所が必要な方の把握に努めながら、介護保険料への影響額等を踏まえ、介護保険事業計画を策定し、介護サービスの基盤整備に努めてまいりたい。



## スピカビルの有効活用について



【増淵議員】スピカビルを民間活用で再生するのは難しいのでは。

【市長公室長】下館都市開発(株)の運営で2回リニューアルしたが、うまくいかなかった。やはり、商業のプロに任せて、スピカビルの再生を図りたいと考えている。

【増淵議員】現実的には、商業での再生は難しく、本庁舎としての利活用を考えるべきではないか。

【市長】先のアンケートでは、35%の方が本庁舎のスピカビル移転に賛成したが、45%の方は本庁舎を耐震補強して使用すべきと回答している。

【増淵議員】スピカビルを本庁舎とできない問題点は何か。

【市長】職場環境からの職員の精神衛生上の問題と、立体駐車場の使い勝手の悪さが大きな問題だと考えている。

【増淵議員】職場環境には休憩時間や休憩室等の対応策がある。立体駐車場は他市にもあるが、ビルの営業に支障をきたした話は聞かないがどうか。

【市長】高齢者のドライバーから立体駐車場の使い勝手が悪いとの

ご意見を多く耳にしている。【増淵議員】スピカビル売却に伴い3支所を分庁舎にする考えだが、合併での行政コスト削減による行財政改革の本質を貫いていただきたいと考えるがどうか。

【市長】将来的には重複する施設の統廃合を含めて一極集中で行政機能も運営していきたい。



スピカビル

## いじめや体罰について



【津田議員】いじめ、体罰に限らず教育現場全般として、起きてくる

いろいろな問題をどうとらえているのか。また、人権擁護委員、学校評議員を学校問題解決のための委員として位置づける考えについて伺いたい。

【教育長】いろいろな問題が起きているが、その根底に何があると問われれば人間関係の希薄さ、それがこのようなことを引き出していると感じている。人の立場に

立って思いやる心を育てていくことが、問題を解決することである。時間はかかるが、根っこをきちんと育てていかなければ、解決していかない。これは子供や教師ばかりでなく、保護者、大人にもそのような心を育てていくことが大事かと感じている。次に、いろいろな問題が起こる前に、未然対策、未然防止としていろいろな連携会議が設置されている。もし、問題が発生したときは、まず地域でうちの学校を何とかしよう、地域の人が力を合わせる事が大事ということ、会議を開いたりして進めていただいている。それから、いじめや体罰によって自殺にまで至ってしまうような大きな問題ができた場合は、やはり専門家による第三者委員会を設けるべきと考える。大きな問題にならないよう、地域を挙げて、連携しながら諸問題に取り組んでいくことが肝要と考える。



## 新中核病院の本市単独での建設について



【榎戸議員】新中核病院について「竹島にこだわらない」との話が広まっているが、だれが言ったものか。

【審議監】県から、桜川市の参加を促すため提案された。

【榎戸議員】本市議会では竹島を主張し、桜川市議会がその場所を認めない状況では、今後の協議も決裂するおそれがある。また、協和中央病院とは民間と公立の統合であり、主導権は行政でとると考えていた。しかし、病院周辺に関連施設が多く、その場所を離れるわけにはいかないと主張している。今後、3者の意向が合致するのは非常に難しいのではないかと。

【市長】新中核病院建設に候補地は非常に重要だと考えている。協議のテーブルについて、竹島地区の優位性を強く主張していただき決定するのが良いと考えている。

【榎戸議員】国からの25億円の交付金は非常に魅力であるが、市民病院にはこの10年で70億円もの補てんをしている。本市単独で新中核病院建設ができるのではないかと。

【市長】市民病院を維持しての病

院建設になるので、その点をご理解いただきたい。市民病院は173床の許可ベッド数だが、健全経営には最低300床必要であり、3つの病院による再編統合を実現させたいと考えているので、ご理解いただきたい。



市民病院

## 道路整備について



【藤川議員】下館西中が通勤時間帯はかなりの危険である。車が一台とまると脇に自転車はとまれない。信号が短いので学校が目の前であっても渡れないという危険な箇所である。地権者の方に話をしたら市から話があれば話に乗っていただけるとのことだが、話を進めていただけるか伺いたい。

【土木部長】地権者の方がご理解いただいているという話はまだ

伺っていない。

【藤川議員】行政のほうから行かれることはないのですか、いかがですかということ。これはお願いにします。また、伊讚美地内のセーブオン交差点から西へ行く道も通勤時間帯にはかなり車が通るが、側溝にふたがない。片方には側溝にふたをしていただいたが、もう片方にはふたがない。どのようになつていくか伺いたい。

【土木部長】今後早急に対処してまいりたい。

【藤川議員】下館西中学校西側の飯島の団地や大田郷の団地の道路幅が狭い。しかも側溝はふたがなく、たはできないものか伺いたい。

【土木部長】ご指摘の場所は、側溝でなくて昔のU字溝である。U字溝にふたをすると一段高くなつてしまうので、オールカパー等で高さを調整して、ふたをするかたちをとりたいと思つていてるので、ご理解願いたい。



下館西中通学路